

地域密着型金融の取組み状況(平成19年4月～平成20年3月31日)

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

経営改善支援

「都信協の企業再生支援制度」の活用により中小企業診断士を全店12店舗に延べ20回派遣(原則として毎月2店舗)し、各店取引先企業に対する支援強化を図る為に経営相談・情報提供を行うなど企業の健全化に取り組んでおります。

成果として、「都信協の企業再生支援制度」の活用をはじめとする、要注意先等の健全債権化への取組みにより、5先がランクアップしました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

保証協会制度融資の積極的な利用推進により、顧客のニーズに沿った制度の研究や選択をアドバイスし、担保や第三者保証に過度に依存しない融資を実現します。

・制度融資増強キャンペーンの実施(19.7.1～19.9.30)

保証協会制度融資の増強キャンペーンを展開、資金ニーズの掘り起こしも積極的に行い、従来にも増した実績を上げる事ができました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域活性化につながる多様なサービスの提供

お客様中心の懇話会による会員・地域住民が集い地域隣人の和を広げる講演会・日帰り研修旅行等の企画実施の支援と場の提供、また9月の「しんくみの日週間」では役職員が清掃活動や献血参加や感謝デーを設定して、地域と共に生きる金融機関であることを地域に発信しています。またこの他にも店舗を顧客に開放し、各種サークル活動や展示会に利用いただくことに努めております。

成果として、19年度は懇話会企画行事を6回開催し、特に2/18に本店懇話会が企画した「墨田区、協治によるまちづくり」区長講演には、近隣町会が一緒になって地域住民に呼びかけ150名の参加を得ることが出来ました。

また、「しんくみの日週間」においては、12店舗2出張所の全事業所が企画活動を実施し、清掃活動9店舗・献血協力者27名、感謝デーへの来店者1,500名を数えることが出来ました。

決算期における主要開示項目

1. 経営改善支援の取組み実績

経営改善支援取組み率 = 61先 / 423先 = 14.42%

(注)経営改善支援取組み率 = 経営改善支援取組み先数(正常先除く) / 期初債務者数(正常先除く)

2. 再生計画策定率

再生計画策定率 = 再生計画策定先数(正常先除く) / 経営改善支援取組み先数(正常先除く) = 実績なし

(注)再生計画策定先 = 「中小再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

3. ランクアップ率

ランクアップ率 = 5先 / 61先 = 8.19%

(注)ランクアップ率 = ランクアップ先数(正常先除く) / 経営改善支援取組み先数(正常先除く)

4. 創業・新事業支援融資実績

5件

31百万円

5. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資取組み実績

88件

540百万円